

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年4月3日

平成30年度(2年目)

事業コード	25	事業名	会員加入促進運動の実施			戦略コード	3	戦略名	事業者が主役の商工会		
担当部名	企業振興部	担当課名	経営支援課	担当課長名	佐々木隆太	施策コード	13	施策名	実効性の高い会員加入促進運動の推進		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

会員数の減少に歯止めがかからず、商工会の組織力が低下している。

2. 事業のねらい

会員増強による組織基盤の強化に向け、商工会の中長期計画に基づく会員加入促進運動を支援する体制を整える。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	-	H30		H31		H32
-----	-----	---	-----	--	-----	--	-----

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
60	「会員加入促進ガイドライン」の作成	平成30年7月3日「商工会加入強化ガイドライン」公示。	a	a	b	B
61	商工会における計画的加入促進運動の実施	ガイドラインに基づく計画策定を促した。	a	b	b	B
62	会員増強(組織率・新規加入者数)	全県平均組織率58.4%、新規加入者数441件。	a	a	b	B

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード	62					取組コード	62					取組コード					
指標名	全県平均組織率					指標名	全県合計新規加入者数					指標名					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33
目標	59%	60%	62%	64%	66%	目標	350件	400件	450件	500件	500件	目標					
実績	57.7%	58.4%				実績	419件	441件				実績					
達成率	98%	97%				達成率	120%	110%				達成率					
達成度	b	b				達成度	a	a				達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 取組評価の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) a

〈評価の理由〉

商工会の組織率向上に対して有効な取組である。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 取組評価の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) b

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

組織率が目標に達していない。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 取組評価の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) b

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

会員数の増は財政基盤の安定につながる。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B

会員加入強化ガイドラインを策定し商工会へ提示したが、年度途中だったこともあり着手率が低いと感じる。

3. 課題

ガイドラインに基づいた計画的な促進運動を商工会に取り組みさせる仕組みが必要。

4. 今後の対応方針(改善点)

全県目標を設定し、ガイドラインに基づく加入促進計画に着手するよう促す。